

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 10 月 24 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103650		
法人名	社会福祉法人 広島常光福祉会		
事業所名	グループホームげんき馬木		
所在地	広島市東区馬木4丁目2122-1 (電話) 082-883-0238		
自己評価作成日	平成25年7月23日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成25年8月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「その人らしさを大切に」をモットーに利用者の生活をサポートするのはもちろん、グループホームの他に地域密着型サービスの2事業所（小規模多機能型居宅介護・認知症対応型通所介護）が同敷地内に併設されているという環境面を活かし、日々の利用者・職員の交流はもちろん、合同での行事の開催を行っている。園庭も広く、気軽に屋外へ出て散歩や外気浴、ランチを楽しむことができる。花壇には季節の花を、畑には野菜を植えており、観賞や収穫も入居者の楽しみのひとつになっている。</p> <p>食事は3食・おやつ共に手作りのものを提供し、家庭的な雰囲気を演出している。週に一度のかかりつけ医による往診や訪問看護、訪問歯科等の医療との連携を図っている。</p> <p>また、近所へのドライブ行事や、ボランティアによる慰問を受け入れや、町内会のとんどや子ども神輿、清掃等の行事に参加したり、地域の方を招いたイベントを開催している。町内会の方々の日々のやりとりをはじめ、地域や社会との関わりが保てるよう努めている。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホームげんき馬木（以下、ホーム）は、同じ敷地内に法人が運営する事業所があり、お互いに協力しながら入居者主体の支援に努めておられます。家庭的な食事の提供、利用者同士の交流、行事や外出での見守りの徹底など、入居者にとって安全で安心な暮らしとなるよう取り組まれています。</p> <p>今年度から、運営推進会議の通称を「寺小屋げんき」として毎月開催し、地域住民が気軽に立ち寄れるホームをめざして工夫されています。「寺小屋げんき」では、認知症予防料理や夏バテ防止になるおやつ作りなどの調理実習を実施したり、疑似体験、身近で役立つ知識などを伝えたりする場になっています。法人では、職員育成、職員のこれまでの経験、協力医療機関によるバックアップ体制を充実させることにより、重度化した場合の対応にも前向きに取り組まれています。</p>
---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営（1階）					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	・法人や事業所の理念を玄関へ掲示し、毎朝朝礼で理念の復唱をしている。また1日ごとに目標を変え復唱し、それを実践につなげている。	法人理念を基本に、入居者がその人らしく暮らせる支援に取り組まれています。ホームでは、毎日の目標を設定されています。目標を掲げることで、職員へのモチベーションアップにも繋がってまいります。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	・近隣の町内会へ所属し、役員を行ったり、会合の会場として事業所のスペースを提供している。 ・町内会行事(清掃・とんど等)にも利用者と共に参加している。また事業所の行事案内も行い(回覧版、掲示版の活用)、参加を促している。 ・日々の散歩でも近所の方との交流の機会あり。	開設時から町内会に加入されています。ホームでは、地域の一員として積極的に行事に参加されています。また、ホームの行事などを通じて地域とお互いに行き来するなど、地域資源を活用しながら入居者は地域と交流しています。さらに、「寺小屋げんき」を通じて、地域住民と楽しみながら福祉を知る機会づくりにも貢献されています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	・『寺小屋げんき』と称して、地域の方に運営推進会議や介護者教室に参加してもらい、認知症についての勉強会や意見交換を行うと共に、利用者との関わる時間を設けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	・利用状況、行事内容の報告を行って情報、意見交換しサービスの改善へ活用している。口頭の報告だけでなく、写真も用いて行事の様子が確認できるようになっている。 ・町内会と防災協定を結び、事業所を地域の避難場所として提供している。	会議は、より多くの地域住民の参加が得られるよう、「寺小屋げんき」の通称を掲げて開催されています。通常の会議と介護教室を毎月交互に実施し、出席者が楽しみながら福祉のことを知る機会として提供されています。会議では、認知症予防の料理や夏バテ防止のおやつ作りなど、さまざまな企画を立て、誰でも気軽にホームへ立ち寄ることのできる環境づくりに取り組まれています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	・運営推進会議の開催ごとに案内を送付し参加を呼びかけている。市の出前講座を活用している。	「寺小屋げんき」で実施する介護教室では、市担当者の協力を得ながら講座を実施するなど、協力関係が築かれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関は空気の入替えを含め開放している場合が多い。閉まっている際にもボタンで開閉可能にしている。</li> <li>・勉強会、研修を通じて正しい情報を取り入れ職員の意識の統一を図っている。</li> </ul>	<p>職員は、研修を通じて、身体拘束についての正しい知識を深めるとともに、全体での意識統一の徹底を図っておられます。併設の事業所と協力しながら、入居者の見守りが行われています。外に出たい気持ちを尊重し、行動制限をしない支援に努めておられます。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のケア、利用者・職員のメンタルへ気を配り、助言・指導を行っている。また、外部研修に参加し自身の知識技術の研鑽に努めている。</li> </ul>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会にて知識を取り入れ、全職員で情報の共有に努めている。</li> <li>・成年後見制度を活用されている利用者もいる。</li> </ul>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約書、重要事項説明書をもとに丁寧に説明を行い、項目ごとに質問や疑問点は無いかなを尋ねながら、理解いただいているか確認をしている。</li> </ul>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の面会時には本人の状況を報告し意見の聞き取りを行っている。また意見をいただいた際には、会議で話し合いの場を設け、運営へ反映させている。</li> <li>・年1回の家族会総会においても、運営に関する意見等を確認している。</li> </ul>	<p>入居後の暮らしぶりや運営に関する情報を得たいとの意見が家族から出され、面会時やカンファレンス、運営推進会議で伝えておられます。また、職員が身につける名札の着用についても家族からの意見をきっかけに出された意見や提案を毎日の目標に掲げるなど、運営に反映できるよう努力されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・月1回の職員会議で課題を出して話し合い、運営や業務に反映させている。</p> <p>・管理者は、事業所としての意見や提案等を、月1回の法人管理者会議において報告している。</p>	<p>法人では、研修や行事、親睦会の参加を通して職員間のコミュニケーションを図っておられます。職員の制服について、動きやすい服にしてほしいなど、職員から積極的に意見が出され、運営に反映されています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・年2回、管理者や現場リーダーとの面接によって、職員から意見の聞き取りを行い、職場環境・条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>・毎月の勉強会や外部の研修への参加、資格取得に向けての支援を、計画的かつ積極的に行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>・外部研修や外部勉強会で情報交換している。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>・事前の施設見学・面接で、家族や本人から話を聞き、丁寧に説明している。又それを職員に周知し、本人の安心感の確保、信頼関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>・事前の施設見学・面接で家族や本人から話を聞きながら、十分な説明をしている。事前に収集した情報を職員に伝達共有し、家族との信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>・居宅や他施設、病院と連携し、本人・家族の希望を踏まえ、サービス利用の検討を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>・食事を共にしたり、家事や庭仕事等の軽作業を一緒に行い、本人と共に過ごせる環境をつくっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>・年1回の家族旅行の他、様々な行事に家族の参加を得ている。 ・毎月げんきだよりを作成して、近況や写真を掲載し、家族に配布している。 ・面会時には近況等を家族に説明し、交流を図っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>・家族だけでなく、友人知人にも面会に来て頂いている。 ・毎月ドライブの行事を行い、買い物や外食の機会を設けている。外出行事によって、入所前に関わりのあった場所との接点を作るよう努めている。</p>	<p>家族、昔馴染みの人、近所の人などが気軽に立ち寄れるようアウトホームな雰囲気づくりに努めておられます。職員は、訪問者がゆっくり過ごせるように気配りされています。入居者は、行きつけの店での買い物や、外泊を兼ねて自宅へ帰る人もおられます。入居者一人ひとりの馴染みの人や場所を大切にされた支援に取り組まれています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の性格や性別などを考慮し、リビング内の座席の配置を工夫している。</li> <li>・レクリエーション、ストレッチ、外気浴の日課や食事時は、利用者が一堂に会せるような時間を設けている。</li> </ul>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退所後も自由に来園してもらえる環境作りをしている。また電話での相談も受け付けている事をお伝えしている。</li> </ul>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人、家族からの希望を聞き取り、行動などからも読み取るよう努めている。</li> <li>・本人にとって良い方向は何かを、職員間で話し合いながら考えて対応している。</li> </ul>	<p>思いや意向の把握が難しい状況です。言葉での表現が難しい入居者には、日々の様子や表情で把握されています。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活歴、アセスメントシートの確認をし、本人、家族からの聞き取りをしている。また伝達ノート等を活用し、それらの情報を全職員で共有できるようにしている。</li> </ul>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の様子を、個別のケース記録へ記録し、現状を把握しながら対応している。</li> <li>・職員同士で情報の共有をしている。</li> <li>・本人のペースを大切にしている。できる事は声掛け等工夫し行って頂いている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>・本人、家族の意向を聞き、それに基づいたプランの作成をしている。職員、他職種の見解も含め検討、作成している。</p>	<p>3か月ごとのカンファレンスでは、日々の評価をもとに医師の助言や入居者の思い、家族の意見を尊重した話し合いが行われています。入居者の状況に即した計画の作成に取り組まれています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>・知り得た情報や介助方法は記録に残し、職員間で情報共有している。 ・介護計画についての評価を日々の記録に記入し、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>・同敷地内の事業所を自由に行き来し、利用者同士の交流を出来るようにしている。 ・家族から希望があれば、外出時に車椅子の貸し出しも行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>・町内会への入会をしている。 ・地域ボランティアの受け入れを行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>・入居時に本人、家族よりかかりつけ医の希望を聞く。 ・週1回かかりつけ医の往診あり。他病院受診時は、かかりつけ医からの紹介をもらえるようにして信頼関係を築いている。</p>	<p>希望するかかりつけ医と協力医療機関での受診を支援されています。定期的な往診と看護師の配置、専門医との連携など適切な受診体制を整えておられます。</p>	
		○看護職員との協働			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	・訪問看護の際に問診や採血、かかりつけ医の往診前にバイタル表の確認を行っている。また、日々の情報交換も行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院先の相談員と現状の確認のやりとりを行っている。退院時本人に合った対応を病院側と相談している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	・入居時に重度化した場合の対応を入念に話している。実際に起きた場合は、それを踏まえた上で、家族、かかりつけ医と現状に適した対応は何か、話し合いを行い取り組んでいる。	重度化やターミナルケアについては、ホームとしてできる限りの支援に努められています。状態の変化が見られた場合、家族と綿密に連絡を取り合い、医師と情報共有を徹底させながら迅速な対応に取り組まれています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	・勉強会を実施したり、外部研修に参加してその情報を共有している。 ・緊急時対応のマニュアルを作成し、設置している。 ・日々様子観察し、急変や事故を出来るだけ未然に防げるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	・地域の方も交えた避難訓練を定期的実施している。また、連絡網を作成し、地域・町内会に協力を依頼している。	避難訓練には地域住民も参加されています。また、災害時には事業所を地域の避難場所として提供し、備蓄の活用も提案されています。入居者と地域住民の安全の確保のため、相互に助け合う関係を築いておられます。	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	・その人に合った声掛け、介護を行っている。また、外部研修への参加や、勉強会も行い、プライバシーの保護について学んでいる。	一人ひとりの性格、その時の気分に配慮した会話が見られ、尊敬の念を忘れない押し付けにならない支援に心がけておられます。また、入浴や排泄時のプライバシーには特に配慮した対応をされています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	・本人の意思を尊重し適した介護を行っている。 ・本人の意思や希望を参考にしケアプランを作成し実施している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	・その人それぞれの生活習慣に合わせて対応している。 ・本人の好きな事、出来る事を把握し、役割を持って生活してもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	・その人に合った服装を提供している。 ・整容、入浴で清潔を保持している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	・嗜好チェックを行い、丼物が嫌いな方はご飯と分けて提供、食べやすい大きさに刻む、見えやすい食器に盛り付ける等、希望や状態に対応している。 ・食事の準備や片付けを利用者と一緒に行っている。	毎食手作りの料理を提供されています。入居者のリクエストに応えるメニューや外食に出かけ、サンドウィッチやお好み焼きなど普段食べられない物を食べる楽しみの機会も設けられています。また、入居者も役割を持って手伝われ、出番のある暮らしを提供されています。	
		○栄養摂取や水分確保の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細めに水分補給を行っている。</li> <li>・一人ひとりの好みや状態に合わせて、提供内容を調整している。</li> <li>・栄養状態が悪い時はかかりつけ医の指示のもと、エンシュア等で補給している。</li> </ul>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後、声掛け行い、口腔ケア義歯洗浄、実施している。</li> <li>・週1回、義歯ポリドント洗浄、コップ洗浄実施している。</li> <li>・週1回の訪問歯科診療の際、歯科医からケアについてアドバイスをもらっている。</li> </ul>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて個別の排泄表を作成し、排泄間隔の把握に努めている。</li> <li>・排泄の自立に向け、その人に合わせた声掛け、介助を行っている。</li> </ul>	一人ひとりの排泄のリズムに沿って声かけや誘導を中心に、自立に向けた支援に努めておられます。トイレの床はタイル張り、清潔と臭い防止に工夫されています。車椅子も入れる広いスペースのトイレや男性用の立位式便器が設置されています。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分補給をこまめに行い、毎日散歩や体操等の運動を実施している。</li> <li>・必要に応じ、腹部マッサージ等を行っている。</li> <li>・朝食時は手作りヨーグルト、夕食時は牛乳と、乳製品の摂取を促している。</li> </ul>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの希望を優先し、気持ち良く入浴してもらえる様工夫している。仲の良い利用者同士と一緒に入浴することを希望されることもあり、応じている。</li> </ul>	入浴日は、回数や時間帯を制限せず、いつでも入浴することができます。入居者の意向など、職員は入浴時の会話を通して把握に努め、入居者にとっても何でも話せる大切な時間となっています。	
		○安眠や休息の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中、散歩や体操、レクリエーション等を行い、しっかり体を動かし気持ちよく眠れるように工夫している。</li> <li>・空調、照明の管理調整をしている。</li> </ul>		
47		<p>○服薬支援</p> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬時、内服確認を行い確実に内服してもらうようにしている。</li> <li>・処方箋の把握、薬の仕分けを行い、薬情報を職員で回覧し、情報の共有をしている。</li> </ul>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操、レク活動、仕事を毎日実施している。</li> <li>・毎月、外出等を計画実施している。また食後の片付けなどの役割の提供をしている。</li> </ul>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と共に戸外に出掛けられるように支援している。</li> <li>・ドライブなどの外出行事や、家族と日帰り旅行等を行い外出支援に努めている。</li> <li>・家族にも協力いただき、近隣の散歩や墓参りなどを行っている。</li> </ul>	日常的には、散歩や買い物、ホーム菜園での野菜作りで外気に触れています。毎年実施する日帰り旅行など、季節を楽しむ外出も計画されています。温泉や庭園など、馴染みの場所に家族と出かける入居者もおられます。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望者には自己所持をもらい買い物に行ったり、電話をかけたり自分で使用する機会を尊重している。</li> </ul>		
		○電話や手紙の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話をかける時の介助や、手紙を出す時の投函の介助を行い、大切な人と交流が継続できるよう支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・共有スペースの清掃、必要物品の補充、電球の交換等の環境整備をし、過ごしやすい空間の提供をしている。 ・エアコンの入、切、窓の開閉にて空調管理をしている。 ・壁面を使った季節の飾りを掲示し、季節感を出している。	玄関を入ると季節感いっぱいの手作りの作品と入居者の笑顔あふれる写真が出迎えてくれます。広いリビングは、食事や体操、レクリエーション、来訪した人と会話を楽しむなど、自由にそれぞれのスタイルで過ごすことができます。自由に出入りできる庭には、併設の事業所利用者とお茶を楽しむ空間となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングにソファを設置し、利用者との交流を図ったり、テレビを見るなどし、それぞれが自由な時間が過ごせるような環境を作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家具、持ち物の持ち込みは制限をせず、日々親しみ、慣れた物を使用してもらっている。	入居者は、筆筒、テーブル、テレビ、仏壇など馴染みのものが持ち込まれ、家と同じように落ち着いて過ごせる空間となっています。掃除が行き届き、清潔感のある居室はそれぞれの個性を尊重しておられます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	・1人1人のレベルに合わせて、日常生活の中で役割のもてる作業の提供をしている。 ・個別の残存機能が活かせるよう、職員間でケア内容を話し合い提供している。		

V アウトカム項目 (1階)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営（2階）					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	・毎朝、朝礼で理念の復唱を行っている。 ・法人・事業所の理念を玄関に掲示している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	・町内会に所属し、役員を行ったり、会合の場として事業所を提供している。 ・町内会のイベント(とんど、清掃、子ども神輿)に利用者と共に参加している。 ・日々の散歩で近所の方と交流あり。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	・『寺子屋げんき』と称して、運営推進会議や介護者教室に地域の方も参加して頂き、認知症についての勉強会や意見交換を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	・行事内容や利用者状況の報告(口頭、写真)を行い、情報・意見交換で得た事をその後のサービスに活かしている。 ・会議内容は会議録を掲示し、周知を促している。 ・会議での話し合いから発展し、町内会と防災協定を結んでいる。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	・運営推進会議への参加を毎回呼び掛けられている。年度末には区役所職員の参加あり。また、市保健所から講師を招き、講習会を行う等、市の出前講座を活用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関はボタン式スイッチで開くようになっており、操作方法が理解できる人は自由に外へ出る事が可能。また、日中の天気の良い日は玄関を開放している。</li> <li>・勉強会、外部研修等で正しい情報の共有を行っている。</li> </ul>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会を実施し、情報の共有をしている。</li> <li>・外部研修に参加している。</li> </ul>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会、申し送り等で情報の共有をしている。</li> <li>・外部研修に参加している。</li> <li>・成年後見制度を活用されている利用者もいる。</li> </ul>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約書を基に丁寧に説明を行い、項目ごとに質問や疑問点が無いか尋ね、理解しているかを確認している。</li> <li>・改訂時は案内を送付し、不明な点は問い合わせしてもらおう。</li> </ul>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議や年1回の家族会総会を実施している。また、面会時等に意見がある際には、会議等で話し合いの場を設けている。</li> </ul>		
		<p>○運営に関する職員意見の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に議題提案をし、月1回の職員会議</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	で議題にする。管理者やリーダーを含め、それらを話し合っ運営や業務に反映させている。 ・管理者は現場から出た意見等を、月1回の法人管理者会議において報告している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	・年2回、管理者や現場リーダーとの面接によって、職員から意見の聞き取りを行い、職場環境・条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	・毎月の勉強会や外部研修への参加、資格取得に向けての案内や支援を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	・外部研修や外部勉強会等に参加し、情報交換を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	・事前の見学、面接時に本人・家族から直接、病院やケアマネージャー等のサマリーにて情報収集している。		
		○初期に築く家族等との信頼関係			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	・事前の施設見学・面接で家族や本人から話を聞きながら、十分な説明をしている。 ・事前に収集した情報を職員に伝達共有し、家族との信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	・居宅や他施設と連携し、本人・家族と共にサービスの検討を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	・食事等を共にし、生活の一部を共有している。 ・利用者の得意なことを活かし、教えて頂く機会を作っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	・行事等に家族の参加を得ている。 ・月1回広報を作成し、それに生活状況・健康状態を1人ずつ記載して、家族に配布している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	・面会には制限を設けず受け入れている。 ・地域のボランティアの受け入れを行ったり、近所にドライブや買い物に行く機会を作っている。		
		○利用者同士の関係の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流行事への参加・レクリエーション等で交流を持っている。</li> <li>・職員が利用者の中に入り、共通の話題・活動を提供して孤立を防いでいる。</li> </ul>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院へのお見舞いをしたり、自由に来園して頂けるような環境を作っている。又、電話での相談等も受け付けている。</li> </ul>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達ノート等で情報を申し送り、共有している。</li> <li>・個人の好みやくせを掴み、コミュニケーションを図りながら表情を見る等して、ペースに合わせた対応をしている。また、職員会議や勉強会で情報の共有と意識統一を行い、その人の把握に努めている。</li> </ul>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく得た情報は職員同士で申し送りを行う。</li> <li>・食事や生活習慣の嗜好チェックを行い、情報提供シートを作成し情報を把握している。また、家族からも情報収集を行っている。</li> </ul>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りにて、個々の状態を把握している。</li> <li>・毎日のバイタルチェック、排尿・排便の有無・食事量等をケース記録に残し、情報を把握・共有している。</li> </ul>		
		○チームでつくる介護計画とモニタリング			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3カ月に1回の定期見直しを行い、変化があれば随時見直しを実施する。又、1年に1回、介護計画の全体見直しを行っている。</li> <li>・かかりつけ医・現場職員の意見もプランに取り入れる。</li> </ul>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプランの実施状況をケースに記録し、評価に活用している。</li> </ul>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同敷地内の事業所を自由に行き来し、利用者同士の交流が図れるようにしている。</li> <li>・同敷地内の設備を共有化している。</li> </ul>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会行事への参加や、地域からのボランティアによる慰問を受け入れている。</li> </ul>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時に本人、家族よりかかりつけ医の希望を聞く。</li> <li>・週1回かかりつけ医による往診あり。他病院受診時はかかりつけ医から紹介してもらい、信頼関係を築いている。</li> </ul>		
		<p>○看護職員との協働</p>	<p>訪問時に相談や採血を実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問時に向診や採血を実施している。</li> <li>・かかりつけ医の往診前にバイタル表の確認を行ってもらっている。</li> <li>・特変時は病院に電話し、看護師やかかりつけ医に相談をしている。</li> </ul>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院先の相談員・医師・看護師と情報交換を行っている。又、入院時においても本人の状態を情報交換している。</li> </ul>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時やケアプラン説明時に重度化した場合の方向性について話し合っている。又、実際に重度化した時にも改めて家族・かかりつけ医と今後の希望を話した上で対応を話し合っている。</li> <li>・事業所で対応できないことも相談に乗り、他施設の紹介を行っている。</li> </ul>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に勉強会を実施したり、外部研修に参加し、職員間で情報共有を図っている。</li> <li>・事故又は急変に応じた対応マニュアルを設置している。</li> </ul>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方も交えた防災訓練を定期的実施している。</li> <li>・防災に関する外部研修に参加したり、勉強会にて定期的に災害に応じた避難訓練を実施している。</li> <li>・近隣町内会と防災協定を結んでいる。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	<p>・入居者の氏名が分かるものはシュレッダーにかけたり、外部や入居者の前では利用者の事は話題にしない等、個人情報保護に努めている。</p> <p>・本人のペースに合わせた介助、言葉遣いに配慮した声掛けを行っている。</p> <p>・外部研修への参加や、勉強会の開催で、プライバシー保護について学ぶ機会を設けている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。</p>	<p>・本人の意向を尊重した介護や日常生活を提供している。</p> <p>・本人の意思・希望をケアプランに取り入れている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>・本人と話し合い、その人の生活習慣・状況に合わせた対応を行っている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。</p>	<p>・本人の希望に合わせて、整髪、化粧、髭剃りを行い身だしなみが整えられるよう支援している。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>・食事の準備や片付けを本人の希望や役割りに応じて一緒に行っている。</p> <p>・利用者の希望に応じたメニューを取り入れたり、外食したりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事・おやつ以外にも水分補給を促している。</li> <li>・バランスの良い献立を心がけている。</li> <li>・利用者それぞれの好みの物や量を提供出来るよう嗜好調査行い、情報を収集している。</li> </ul>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後、義歯洗浄やうがいの声掛けや介助を行っている。</li> <li>・週1回義歯のポリデント洗浄と口腔ケア用具の消毒を行っている。</li> </ul>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて排泄表を作成し、排泄の間隔を把握できるよう努めている。</li> <li>・利用者それぞれに合わせた間隔でのトイレの声掛け・介助を行っている。</li> </ul>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめに水分補給を行い、散歩や体操等身体を動かす機会を作っている。</li> <li>・排便確認行い、バイタル表やケース記録に記入する事で排便の有無を把握できるよう努めている。</li> <li>・排便がみられない時は腹部マッサージや温罌法等を必要に応じて行っている。</li> <li>・朝食時は手作りヨーグルト、夕食時は牛乳と、乳製品の摂取を促している。</li> </ul>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴の順番や時間等、本人の希望を優先し入浴を実施している。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調や照明をこまめに調整している。</li> <li>・食後に臥床を促したり、日中ラジオ体操やレクリエーションでしっかり体を動かす機会を作り活動できるようにしている。</li> </ul>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処方内容の回覧を行い、処方内容の把握、周知する事で情報の共有化を図っている。</li> <li>・薬の仕分け、確認を別々の職員が行い、チェックが出来るようにしている。</li> <li>・服薬時の確認や介助を行い、確実に服薬が出来るようにしている。</li> </ul>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操・レクリエーション等を日常的に行っている。他にもユニット間の交流を図る「お楽しみ会」、同敷地内の利用者の交流を図る「月1回」を実施している。</li> <li>・食事の片付け等の作業や役割の提供を行っている。</li> </ul>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候や利用者の状況をみながら外気浴を行っている。</li> <li>・ドライブ等の外出行事を毎月企画し、実施している。他にも家族会の行事として日帰り旅行やとんど等の地域の行事への参加もしている。</li> </ul>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望する人にはお金を所持してもらい、買い物や電話を掛ける際に本人が使用する機会を尊重している。</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の希望で電話をかけたり、利用者宛てにかかってきた電話の取り次ぎを行っている。</li> <li>・電話を掛ける時の介助や手紙の投函等介助している。</li> <li>・家族からの希望があればケアプランに取り入れ、支援している。</li> </ul>		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害物を取り除き、歩行しやすいようにしている。</li> <li>・季節の飾りを作成し玄関やリビングに飾っている。</li> <li>・空調管理を行い、快適な室温・湿度になるよう努めている。</li> <li>・トイレや浴室には看板を設置し、場所を分かりやすくしている。</li> </ul>		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リビングにはテレビやソファを設置し、誰でも自由に使用出来るようにしている。</li> </ul>		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅から使いなれた家具や写真等、馴染みのあるものを持ち込んでもらい、生活してもらっている。</li> <li>・転倒防止にも配慮した、快適で暮らしやすい環境作りを心がけている。</li> </ul>		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来る事は行ってもらい、出来ない事を職員と一緒にやっている。</li> <li>・それぞれのレベルやペースに合わせた役割を日常生活のなかで行っている。</li> </ul>		

V アウトカム項目 (2階)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームげんき馬木

作成日 平成 25 年 11 月 15 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	-	外出行事を行っているが、家族へ伝わっていない(家族アンケートより、戸外へ行けているか不明との意見あり)。	家族が、ホーム内の活動を把握する事ができる。	行事の写真やホームたよりを活用し、家族へアピールする。面会時にも、行事や戸外へ出かけた時の様子を報告していく。	6か月
2	-	健康面・医療面・安全面について心配がある(家族アンケートより)。	利用者・家族がホームで安心した生活を送る事ができる。	勉強会にて、高齢者の健康面への配慮、また、ターミナルの勉強を行う。事故防止委員会を中心に、安全面の取り組みを強化する。	6か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。